

【議事録】（委員ご発言部分）

千葉市多文化共生のまちづくり推進指針見直し・アクションプラン策定有識者会議（第一回）

日時：令和4年6月30日（木）午後2時から午後3時15分

場所：議会棟 第5委員会室

出席者：別添「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針見直し・アクションプラン策定有識者会議（第一回）名簿」のとおり

議題

（1） 千葉市多文化共生のまちづくり推進指針の見直し骨子案について

委員からの主な意見

No.	発言者	内容
1	市川様	問：海外都市交流の「国際協力」の「地球規模課題解決に向けた取組」は具体的に何をやるのか。 事務局：SDGs、ダイバーシティなどを共に考える場を想定しているが、具体的に決まっているものではなく、今後検討していきたい。
2	豊田様	・私は町工場経営。実際のところ、外国人がいないと経営は成り立たない。 ・日本人の「選民性」を払拭することがポイント。自治会や教育の場でも同じことが言えるのではないか。当社では能力のある外国人を役員や主任級に昇格・昇給させ、懇親会など「交流」を徹底的にやってきた。 ・町工場が地域社会の縮図、近い将来を表しているように感じる。町工場の状況や取組がヒントになるのではないか。
3	安本様	・HPの多言語化の際は、「やさしい日本語」化を加えてほしい。 ・方向性1についても、「外国人市民は支援される側、日本人市民は支援する側」という位置づけを払拭したらどうか。例えば、「外国人市民が」という主語を削除・変更するなど。 答：ご指摘の2点、そのとおりと思う。やさしい日本語については本市もそれなりに取り組んできているが、指針にも位置付けたい。
4	片桐様	・千葉市には「外国人児童生徒指導協力員（主に外国籍）」の方が、外国籍の児童生徒に日本語を教えている。 ・せっかく日本にいるのだから、「日本人が日本語を教えるべき」。
5	鈴木様	・先生が日本語指導をしてくれるので、子どもの学校生活はだいぶ改善されているが、親御さんたちに日本語が通じないのが一番の課題。 ・これまでも市に要望してきたが、1か月でも基本の日本語を学べるシステムが望まれる。 ・親御さんたちにとって、働くことが大切であることは理解できる。子どもが少しくらい体調不良であっても学校に行かせ、親は働きに行っている。これに対応する先生のご苦勞をお察しする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・基本の日本語を分かっていないので、ごみ捨て方法が分からない、ゴミ捨て場から物を持ってきてしまう、畑を作ってしまうなどが増加。 ・せっかく設定した地域交流会への参加者がゼロのときもある。立派だと感じさせられるような外国人の方もいらっしゃる一方、多くの外国人の方は日本語を覚えようという気さえあるのだろうかという疑問を感じる。参考資料3の「20 日本語学習」では、日本語を学びたいという人が多いとのことであるが、私の実感と異なる。
6	湊様	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会は、現場の声をしっかりお聞きし、架け橋になれるよう具体的な取組を進めていきたい。
7	豊田様	<ul style="list-style-type: none"> ・指針やアクションプランを作っても、現場に本当に適用されるのか、届くのか。届かなければ意味がない。
8	新倉議長	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生活習慣、価値観を持っている方がいる。違いがあるのは当たり前のこと。どうやって折り合いをつけていくか。 ・「外国人とは関わりたくないという人々」と「共生を志向する人々」の差が広がっている気がする。 ・生活習慣や価値観は違っても、「ここまでは従ってください」というところを外国人に繰り返し示すことは大切。 ・地域を日本人と外国人に分断すると大変なことになるので、知恵を出さなければならぬ。 ・以上、委員から様々な意見が出たので、事務局においては指針の見直し・アクションプランの策定においてご検討いただきたい。手垢のついた言葉をあまり使わずに、できる限り具体的な形で示してほしい。

(2) 千葉市多文化共生のまちづくり推進指針の見直し・アクションプラン策定に係るスケジュールについて

(事務局から資料にしたがって説明した後の委員の発言) 特になし。

(3) その他(全体を通して、補足したいことなど)

No.	発言者	内容
1	安本様	<ul style="list-style-type: none"> ・一元的相談窓口については東京入管でも支援を行っているので、是非活用いただきたい。 ・高校卒業後に進学・就職する際には、在留資格の変更が必要なケースもある。ガイダンスの際に東京入管から職員を派遣して説明することもできるので要すれば協力させていただく。
2	新倉議長	<ul style="list-style-type: none"> ・お集りの委員は、普段見ている外国人がそれぞれ異なっているため、持っている課題も異なっている。ただ共通して言えることは外国人を「孤立させない」ということだと思う。

以上